

教育委員会だより

第8号 (平成26年12月~平成27年1月)

発行者

池田町・養基組合教育委員会

池田町六之井1468-1

☎ 0585-45-3111 Fax 0585-45-7116

E-mail yakuba@town.gifu-ikeda.lg.jp

青少年育成町民大会を開催

11月30日(日)に、池田町青少年育成町民大会及び講演会を開催しました。今年の大会は、重点目標について各校区の取り組み事例を発表していただきました。重点目標とその成果を紹介します。

◇温知小校区・・・「大人も子どもも大きな声で元気にあいさつしましょう」

◇八幡小校区・・・「社会の基本的なルールを守る気持ちや責任感を育む地域活動」

◇養基小校区・・・「明るい家庭づくりの推進」

◇宮地小校区・・・「地域のおじさん、おばさん運動」

【成果】青少年育成委員に、宮地としての取り組みを理解してもらえた。また、行事を通して地域の方々との交流ができた。

◇池田小校区・・・地域の子どもは地域で守り育てる運動の推進

【成果】育成委員になったのを機に「地域のおじさん・おばさん運動」に登録し、今後でもできる範囲で地域の子どもたちを見守っていくという意識が生まれた。

◇池田中学校生徒会・・・いじめをなくし、インターネット・携帯電話の安全安心な利用の推進

【成果】携帯電話等の利用状況をアンケートで確認し、起こり得る問題にどのように対処するべきかを全校で確かめ合った。また、家庭でも相談するきっかけになった。



八幡小校区の実践発表の様子

第2部では、魂のボーカリスト 杉山裕太郎さんによる講話と歌でした。杉山さんは、自身の体験からネット社会への警笛と無条件に子どもを受け止める親の姿勢の大切さを訴えました。杉山さんの講話は、体験した人でなくては話せない内容であり、子育ての根本であると感じました。青少年の健全な育成のために益々御活躍いただくことを期待しています。

養基小の子の育ちを考える会

保護者や地域の声を学校運営に反映させ、学校、保護者、地域が一体となって、子どもたちの健全育成や地域での安全確保に取り組んでいく「養基小の子の育ちを考える会」が11月19日(水)に養基小学校で開催されました。

当日は、最初に全学級の公開授業を参観し、その後に、多目的室で全体会を行いました。

全体会では、学校がこれまで取り組んできた教育活動などについて校長先生から説明がありました。その後、各グループ毎に授業参観の感想、地域や登下校時の子どもの様子などについて意見交流をしました。最後に、各グループで出た感想や意見をグループの代表者が発表しました。

- 子どもたちが落ち着いた雰囲気の中で授業が進められていた。
 - 考えようとする姿が観られ、考える力が付いてきている。
 - 高学年になるほど先生が話しすぎる傾向がある。
 - 全国学力学習状況調査の結果はどのようになかしているのか。
 - 登下校時の子どもたちの挨拶や安全な歩き方をもっと意識させていきたい。
 - どこまで学校に関わっていくのがよいかかわからない。
- 今後子どもたちの健全育成や地域での安全確保に自分なりにできることから取り組んでいきたいと思っています。

初任者研修

第3回初任者研修（12月16日）は、地域研修の一つとして、社会教育課より池田町の方針や重点施策の説明を行いました。子どもを取り巻く各組織や団体の活動、中央公民館を中心とした公民館活動について、担当者から説明をいたしました。

その後、今回は先生方の授業を事前に参観しておりましたので、各委員からその講評をさせていただきます。

長谷川教育長からの講話では「授業の基本型」である課題解決型学習の進め方についての指導と、「道徳教育について知っておきたいこと」と題して道徳教育の求める姿や授業について、より具体的に助言をしていただきました。

先生方は2学期の成果と課題を発表されましたが、より良い授業や学級経営をめざして努力されていきました。若い時だからこそ誰もが経験する悩みや苦しみをしっかり受け止め、研究を重ねながらそれを乗り越えようと、一生懸命取り組んでおられます。そこには、子どもを思う若き教師の清々しさ、明るさ、力強さを感じることができました。

2学期は運動会など大きな学校行事もあり、それを任されて頑張っておられました。「わからない時は先輩の先生方にお聞きして。」と発言されましたが、学校全体で校長先生を中心として、若い先生を育てるという方向で取り組んでおられることを、大変うれしく思いました。

池田町教育委員長 国枝 磨須美

【学校訪問】

温知小学校

新任の先生の授業を見せていただきました。

温知小学校には二人の新任の先生がおられますが、お二人とも、児童の様子や反応に気配りをしながら、意欲的に授業を進めておられました。低学年を受け持っておられることから、集中力を欠く児童もおりますが、そういう児童にも気配りをしながら授業を進めておられるのは、初任の先生とは思えないほど素晴らしい気遣いと受け止めました。

後日の研修の際、「一生懸命に授業をされていることは素晴らしいことですが、児童はお客様だという視点も入れてほしい。」との事を伝えました。お客様は興味を持たないと寄ってこないし、自分中心でなく、相手に興味を持たせるような授業づくりも大切ではないかということとを伝えました。

素晴らしい授業を行っておられる先生方が、より、幅広い視野を持って飛躍されることを願っています。

池田町教育委員 小川 直美

八幡小学校

八幡小学校では、12月から1月末にかけて、休み時間を利用し、大縄跳び大会の練習をしていました。

今年は、学年や学級という枠組ではなく、1年生から6年生までがまんべんなく混在する、十人前後の縦割り班「はりんこ班」で競い合うとのこと。練習が始まると、あちこちから「ハイ、ハイ、ハイ」「せーの」「どんまい」と、元気のよいかげ声がグラウンドいっぱいに広がります。

練習の後に、子どもたちが記録している「大縄練習記録表」を読ませてもらいました。その日に跳べた回数や反省、仲間の良かった姿などがびっしり書かれていました。どんな声かけが良いのか、どんな順番でどうやって並んだら良いのか、背中を押してタイミングをとってあげ



大縄跳びの練習を八幡小の児童

ると良いなど、上級生を中心に、みんなで考えている様子が書かれていました。

こういったイベントだけではなく、日常の掃除や遠足なども一緒にこなしている「はりんこ班」の内部では、様々ないさかいやトラブルはあるようです。しかし、それは、自分とは違う体力や考え方もつ相手の状況を受けとめる為には避けられないことだと思えます。

うまく行かない状況を避け、逃げてしまつのではなく、いろいろと悩み、試行錯誤を繰り返すことで、人間関係をつくりあげていく力が育つていけば、素晴らしいことだと思えます。

池田町教育委員職務代理 野網 国昭

宮地小学校

12月10日（水）、初任者の担任授業参観を目的に学校訪問をいたしました。初任の児島先生は2年生のクラスの担任をされています。その教室の授業風景を参観し、感じたことを述べてみたいと思います。

たった8人のクラスの授業は、とても家族的な暖かい雰囲気の中で行われている印象を受けました。先生の優しい語り口での発問に呼応して子ども達全員の手が挙ると、全員拳手を誉めてから指名者に発言させています。又、付け足

し発言や同じ意見の発言であっても、自分の言葉で語って伝える力を育む指導をされています。そして、全員に万遍なく発言する機会を与えることで、子ども達の集中力を保った授業ができています。特にペアでの寸劇による模擬体験型の発表手法は、主人公の心情を理解させるには最適であると思っただ次第です。本時の最後に授業を振り返させる際、子ども達に1〜2分間、目を閉じて、静かに自分の感想をまとめさせ、発言させる授業の在り方には工夫を感じました。

児島先生には、これからも良い授業作りに精進されんことを期待します。

池田町教育委員 野原 正

池田小学校

思いがけない大雪が降った朝のことです。小学校から横断歩道までの長い道を、先生方がせつせと雪かきをして下さっていました。横断歩道では、地域の方が滑らないように雪を除けて下さいました。そんな中を子どもたちが元気に分団で登校して来ました。

ところが、いつも田んぼの中の一歩道を上級生を先頭に並んでやってくる分団が、途中で止まったまま動きません。みんな集まってしばらくじっとしています。やっと歩き始めてたどり着きました。「どうしたの?」と聞くと「Aさんが急に泣き出したのでみんなで慰めていました。」とのこと。

初めての雪の日に傘をさして通う1年生。傘に乗る雪の重さや寒さ、冷たさが何となく悲しかったのかもしれない。それをいつも気ままに見える子どもたちが、寄り集まって慰め励まし合っていたのでした。分団長さんの優しさや責任感、そしていつも一緒に通う分団の子どもたちの仲間への思いやりに、温かいものを感じました。子どもたちは助け

合って雪の道を通っていました。

また、通学路ではあちらこちらで地域の方が雪かきをして下さり、ありがたく思いました。これからも子どもたちがいろいろなお世話になります。どうぞよろしく願います。

池田町教育委員長 国枝 磨須美

養基小学校

県内小学校社会科、県大会指定校として10月30日(木)養基小学校にて研究発表会がありました。県内の小中学校から270名の先生方が社会科授業を参観されました。



地域の方もゲストティーチャーとして参加していただいた授業の様子

全学年の担任が学習の資料作成のために現地に出向き、創意工夫した教材を準備され、子どもたちが興味深く意欲的に追求できるように導かれました。それにより、子供達は思考力、表現力を高めながら、自信をもって元気よく発言できました。3年間取り組まれた成果があり、助言者の先生方からもすばらしい授業との評価をいただきました。

授業のなかには、地域で働く方々にゲストティーチャーとして授業に参加してもらい、子どもたちがよく理解できるよう工夫をする担任もみえました。区長自身が草刈り機を持って作業者として説明したり、お店の方からは、新鮮野菜などの対面販売のよさや、大型スーパーとの違いを説明していただきました。

「仲間と練り合い、社会的な見方や考え方を高める姿をめざして」という研究テーマで行われた発表会は、「子どもの姿を見せること」の大きな成果があったと感じました。

今後先生方が「養基っ子」達の為に、興味深く関心が高まる授業ができるように、教師、保護者、地域の方々が一体となる環境の必要性を改めて感じる一日となりました。

養基組合教育委員職務代理 安藤文一

池田中学校では今

池田中学校では、2月18日(水)に予定されている「伝統を引き継ぐ会」に向けて、2年生が中心になってその準備に取り組んでいます。池田中学校で生徒たちが引き継ぐべき伝統とは何でしょうか? 現在、次のことが引き継ぐべき伝統として受け継がれています。

- 授業・・・3分前着席、私語なし、全員参加
 - ・ 挙手、ハンドサインひじピン
- 掃除・・・黙働、隅々まできれいに
- あいさつ・明るく誰にでも「おはよう」「こんにちは」「さようなら」「こんにちわ」「さようなら」
- 合唱・・・私語なし整列、歌う姿勢、指揮者注目、大きな口で

毎年、4本柱に生徒・職員が丸となって取り組んでいます。よい伝統を引き継ぎ、誇り高い池中生になってほしいと願っています。

教育長 長谷川 貴志

第三者委員会を設置

学校教育の場において、いじめ等の重大事態が発生した場合に客観的な事実関係を調査することを目的として、12月1日付けで委員5名からなる第三者委員会を設置しました。

委員の皆さんには、毎学期末に各学校からのいじめ等の事案についての報告を聴いていただき、助言をしていただきます。また、重大事態が発生し、学校主体の調査では十分な結果が得られないと判断した場合には、事実関係の調査をしていただきます。大切なことは、重大事態に陥ることのないように、学校は勿論のこと教育委員会も緊張感を持ち、いじめ等の問題の未然防止に努めることであると考えます。

保護者そして地域の皆様におかれましては、いじめ等の問題に気づかれましたら、遠慮なく学校や教育委員会にお知らせください。被害者の立場に立って迅速に対応してまいります。



写真上 左から
小林月子さん(サンビレッジ国際医療福祉専門学校校長)
成瀬一彦さん(元公立高校校長)
写真下 左から
高崎正之さん(区長連合会会長)
清水誠一さん(青少年育成推進員、保護司)
西科敏彦さん(人権擁護委員)

1つ寄付、ありがとうございます。

池田中学校の北駐車場に株式会社シンシアサービス様(春山秀司様)より大変立派な看板を寄付していただきました。駐車場の混雑を避ける上で大変有り難いご寄付をいただきました。心より感謝申し上げます。

寄付していただきました看板。駐車場及び進路が明確になりました。



教育に新しい風を

平成27年度から地方教育行政が改正されます。

一番の改正の柱は、町長が総合教育会議を設置し、教育委員会と共に教育振興にかかる基本的な方針(大綱)を策定し、重点的に講ずべき施策、緊急の場合に講ずべき施策について協議調整していきます。大綱の内容としては、予算措置に伴う重要な教育施策の方向性、児童生徒等の生命・身体に被害が生じ、その恐れが見込まれるなどの緊急事態への対処等を盛り込みます。

また、教育行政の責任体制を明確化するために、4月以降に任命された新教育長からは、教育長と教育委員長の職務が一本化されていきます。

教育委員会の主な活動 平成26年12月 から平成27年 1月

日付	活動	備考
12月 1日 ~10日	初任者 授業参観	池田中、温知小、宮地小、池田小
12月 5日	池田町・養基組合合同教育委員会	中央公民館第3会議室
12月16日	池田町教育委員会協議会 初任者研修	教育センター 中央公民館第3会議室
1月11日	成人式	中央公民館大ホール
1月20日	揖斐郡教育委員会連絡協議会	大野中学大野分校
1月23日	池田町・養基組合合同教育委員会 教育懇談会	中央公民館第3会議室
1月24日 ~30日	給食週間	中学、各小学校

お知らせ

3月6日(金)池田中学校、3月25日(木)町内小学校での卒業式が盛大に執り行なわれます。保護者の皆様には、卒業式にお出かけいただき、健やかに成長されたお子様の晴れ姿を是非ご覧下さい。

編集後記

第8号の「教育委員会だより」を発行することができました。従来は3か月ごとの発行でしたが、前号より、2か月ごとの発行としております。用紙のサイズと発行サイクルの変更により、皆様にお知らせしたい事を、より速やかに、また、内容も豊富にできたのではないかと思います。

今後とも、より読みやすい紙面を、内容豊富に、かつ、タイムリーに発行していくように努めてまいります。よろしくお願いたします。

編集担当 国枝 磨須美、小川 直美